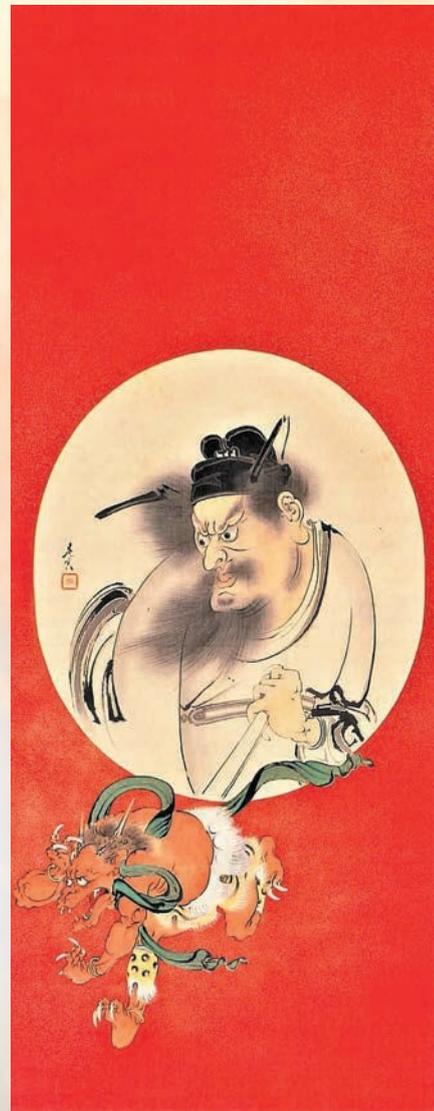


日本近代美術の

灯

ともしび

「常民、美へのまなざし」



柴田是真《鍾馗に鬼図》（公財）鍋島報效会蔵
（11月10日まで公開）



小林呉橋《松鷲図》 館蔵

令和6年

期間▶ 10月4日(金) ~ 11月24日(日)

※期間中、展示替えを行います。

場所▶ 佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館 展示室

開館時間 / 9時~17時 ※入館は16時30分まで

休館日 / 毎週月曜日 ※休日の場合は翌平日

観覧料 / 大人500円、小中高200円 ※20名以上団体割引有

同時開催

開館20周年記念パネル展

10月11日~10月25日 ●観覧無料●

20年を
写真で
振り返ります



佐野常民と
三重津海軍所跡の歴史館

SANO TSUNETAMI and
the Mietsu Naval Dock History Museum

TEL 0952-34-9455

佐賀市川副町大字早津江津 446-1
<https://sano-mietsu-historymuseum.city.saga.lg.jp>



主催：佐賀市（佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館） 共催：佐野常民顕彰会

後援：佐賀県、日本赤十字社佐賀県支部、サガテレビ、ぶんぶんテレビ、NBCラジオ、エフエム佐賀、朝日新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社

今年は歴史館開館20周年、来年は世界遺産「明治日本の産業革命遺産」登録10周年

明治維新後、欧米諸国に追いつくための近代化を進めていた日本。行き過ぎた西洋賛美の風潮のなかで従来の美術界は取り巻く環境が激変し、厳しい状況に置かれていました。こうした風潮に警鐘を鳴らしたのが、明治6(1873)年のウィーン万国博覧会から帰国した佐野常民でした。佐野は、美術作品や古来より伝承された技術を保護、美術界の再興を目指し、龍池会、後の日本美術協会を結成します。

本展では当時の美術作品や佐野の功績を示す資料から、現在に受け継がれていく日本近代美術の足跡をたどります。



日本美術協会メダル 館蔵

見どころ
1

初公開!

日本美術協会会員から常民へのお祝い
佐野伯爵栄進画帖

見どころ
2

伝統の技術と継承



龍…高貴さ・豊穡



鯉…立身出世



荒木寛畝筆



荒木十畝筆

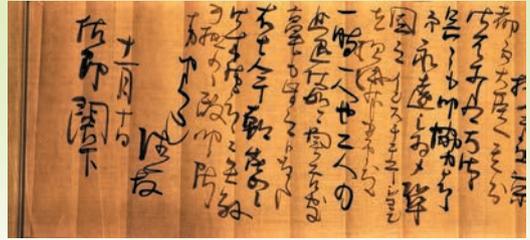


福祿寿…幸福・財産・健康
こうもり…福
鹿…神の使い



しゃくやく…美しさ

《佐野伯爵栄進画帖》より 館蔵



九鬼隆一書簡佐野常民宛(部分) 美術に関する制度整備を訴える内容
日本赤十字社佐賀県支部蔵(佐野・三重津歴史館寄託)

関連イベント

◆講演会

申込不要
聴講無料

定員
40名

演題 「近代日本画の動向
—佐賀の画家を交えて—」

講師/安東慶子氏
(佐賀県立博物館・美術館学芸員)

日時/11月2日(土)13時30分~15時
場所/1F多目的室

◆ギャラリートーク

申込不要

展示のみどころなどを担当学芸員が解説
日時/期間中、毎週日曜日
13時30分~(約30分)
場所/1F展示室

※観覧料が必要です。

◆ワークショップ

要申込

定員
各10名

大串亮平の日本画教室
~「佐野伯爵栄進画帖」の絵を描く~

講師/大串亮平氏(日本画家)
日時/10月19日(土)14時~
20日(日)10時~14時~
場所/1F多目的室

※観覧料が必要です。



《佐野伯爵栄進画帖》(部分)館蔵



詳細・申込みは
こちらから▶



Access アクセス方法



- 佐賀駅バスセンターから
佐賀市営バス諸富・早津江線にて30分
「佐野・三重津歴史館入口」バス停下車
徒歩約10分
- 西鉄柳川駅から
西鉄バス久留米 沖新線にて30分
終点「早津江」バス停下車、徒歩10分



- 長崎自動車道佐賀大和ICから
車で40分
- 九州佐賀国際空港から
車で15分
- 有明海沿岸道路諸富ICから
車で約1分



世界遺産 「明治日本の産業革命遺産」

デジタルスタンプラリー/
を開催中!



詳細は、
QRコードから

